

2019年8月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2019年8月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<http://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、堅調に推移している。輸出は、弱めの動きとなっている。設備投資は、製造業を中心に増加している。個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。住宅投資は、足もと増加に転じたが、基調的には弱い動きとなっている。

こうした中で、生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。雇用情勢は、労働需給が引き締まった状態が続いている。

【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。	緩やかに拡大しているものの、そのペースは鈍化している。
需要項目	公共投資	堅調に推移している。
	輸出	弱めの動きとなっている。
	設備投資	製造業を中心に増加している。
	個人消費	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。
	住宅投資	足もと増加に転じたが、基調的には弱い動きとなっている。
生産	一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。	一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。
雇用	引き続き改善している。	労働需給が引き締まった状態が続いている。

2. 需要項目別動向

公共投資は、堅調に推移している。

6月の公共工事請負金額をみると、国、県等の発注分が増加したことから、前年比プラスとなった。

輸出は、弱めの動きとなっている。

設備投資は、製造業を中心に増加している。

6月短観における19年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。

大型小売店（百貨店・スーパー・複合商業施設）売上高や量販店（ディスカウントストア・ホームセンター等）売上高は、夏物商材が伸び悩んでいるものの、身の回り品や化粧品は引き続き堅調に推移している。

乗用車販売は、堅調に推移している。

住宅投資は、足もと増加に転じたが、基調的には弱い動きとなっている。

6月の新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年比マイナスとなった。

3. 生産

生産は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体として高水準で推移している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	海外向けの一部が弱含んでいるものの、生産は高水準で推移している。
	電炉	建設向けを中心に、生産は高水準で推移している。
化学		生産は高水準で推移している。
セメント		生産は堅調に推移している。
住設機器		リフォーム向けを中心に、生産は高水準で推移している。
電気機械		半導体向けを中心に、生産水準は切り下がっている。
電子部品		半導体向けを中心に、生産水準は切り下がっている。
自動車		海外向けを中心に、生産は弱めの動きとなっている。

4. 雇用

雇用情勢は、労働需給が引き締まった状態が続いている。

6月の有効求人倍率は、1.33倍（前年比▲0.07ポイント）と、前年を下回った。

5. 物価

6月の消費者物価指数（北九州市の生鮮食品を除く総合ベース）は、前年比プラス（+0.7%）となった。

6. 企業倒産

6月の企業倒産（負債総額10百万円以上）をみると、件数は6件（前年同月7件）、負債総額は920百万円（同2,306百万円）となった。

7. 金融情勢

6月末の実質預金は、前年比1.8%増となった（前月同2.0%増）。貸出は、前年比2.7%増となった（前月同2.6%増）。

この間、貸出約定平均金利（都銀・地銀・地銀Ⅱ平均、総合<ストック・ベース>）は、1.143%となった（前月1.139%）。

以 上